

# あ げ お 議会 だより



## 主な内容

市長の提案説明	2～3ページ
委員会の主な審査内容、討論	3～5ページ
提出議案とその結果	6ページ
市政に対する一般質問	7～15ページ
今議会で決まった人事、請願の結果	15ページ
委員会活動、意見書	16ページ

## 9月定例会

平成22年度一般会計補正予算、上尾駅西口  
レンタサイクルの廃止条例など21議案を可決



誰が1番かな (市内保育所の運動会)

## 平成22年9月定例会日程

- 8月30日……………開会、議案の上程、提出議案の説明、監査報告
- 9月1日……………提出議案に対する質疑、決算特別委員会の設置、委員会付託
- 9月2日……………総務・建設水道消防常任委員会
- 9月3日……………文教経済・福祉常任委員会
- 9月7日……………一般質問
- 9月8日……………一般質問
- 9月9日……………一般質問
- 9月10日……………一般質問
- 9月13日……………一般質問
- 9月16日……………委員長報告、討論、採決、議員提出議案の上程・採決、閉会

第152号

平成22年(2010)  
11月号

発行/上尾市議会  
編集/議会報編集委員会  
〒362-8501  
埼玉県上尾市本町3-1-1  
電話048-775-9467

9月定例会で審議した議案は、市長提出議案23件、議員提出議案6件の計29件で、このうち決算認定議案の8件を除く21件の議案を原案のとおり可決・同意・異議なき旨答申しました。

### 市長の提案説明から

#### ○上尾市一般会計補正予算

今回の補正予算は、緊急性の高い事業を追加計上したほか、県の「緊急雇用創出事業費補助金」や「赤ちゃんの駅市町村設置事業費補助金」を活用した事業などを計上した。

その結果、補正額は4億9,749万8,000円、累計予算額は54億8,785万7,000円となったところである。

#### 〈主な事業〉

総務事業の「学童保育所移転整



こんにちは赤ちゃん事業の訪問員の委嘱式

備事業」は上尾小学児童保育所を、上尾小学校敷地内に移転・建設し、引き続き安定的な運営を図るとともに、学童の安全を確保する。「コミュニティセンター整備・改修事業」は、自動火災報知設備や老朽化したホール楽屋脇のトイレ改修を行うものである。

民生事業の「拉致問題講演会事業」は、拉致問題に対する市民の理解を深めるために、平成23年2月6日に上尾市文化センターを会場として講演会を企画することとしたものである。

衛生事業の「こんにちは赤ちゃん事業」は、生後4カ月までの乳

児のいる家庭を訪問し、育児に関するさまざまな不安や悩みを聞くとともに、子育て支援に関する情報をきめ細かく提供するための費用を計上した。

農林水産事業の「農地制度実施円滑化事業」は、農地法の改正により必要となった農地基本台帳システムの改修を行うための費用を計上した。

土木事業については、交通の安全性と道路環境の向上を図る観点から、1・2級道路や生活道路の修繕・清掃、新設改良などに係る経費を増額計上した。

「上大久保線整備事業」は、地権者との交渉の結果、本年度中に用地の一部が購入可能となったため必要な経費を計上した。「上尾中山道東側地区市街地再開発事業」は、事業進捗よくが遅延している上尾中山道東側地区再開発組合に対し、都市・地域再生緊急促進事業補助金を交付し、事業の進捗よくを支援するものである。「ふるさと」の緑の景観地保全事業」は、県が指定する中分地内の「藤波・中分ふるさと」の緑の景観地」について、みどりの基金を活用し、その一部を購入するものである。

教育事業の「上尾道路安全誘導

員配置事業」は、上尾道路の一部開通に伴い上尾道路西側から通学する児童・生徒の下校時の安全を確保するため、安全誘導員を配置するものである。また「古文書整理事業」は、市指定文化財などの古文書を電子化するものであり、いずれの事業も「緊急雇用創出事業費補助金」を活用して実施するものである。

そのほか各費目にまたがって「赤ちゃんの駅設置事業」を計上したが、これは県の補助金を活用して、市内35カ所の公共施設におむつ交換台などを備えた「赤ちゃんの駅」を整備することにより、乳幼児をもつ子育て家族が安心して外出できる環境づくりを進めるものである。

以上が主な事業であるが、これを賄う財源としては、国・県支出金や繰越金などを見込んでいます。

#### ○上尾市公共下水道事業特別会計補正予算

緊急雇用創出事業として公共下水道工事の現場確認をする調査員を雇用する経費を計上した。

#### ○上尾市介護保険特別会計補正予算

過年度の介護保険給付費などが確定したことに伴い国県支出金な

どの精算を行うものである。

○条例その他

上尾駅西口レンタサイクル条例を廃止する条例の制定については、機械設備の老朽化および利用率の動向にかんがみ、上尾駅西口レンタサイクルを廃止したいので、提案する。

上尾市立養護老人ホーム恵和園条例の一部を改正する条例の制定については、恵和園の行う老人デイサービス事業について、その年末年始の休業期間を短縮したいので提案する。

上尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定については、カラオケボックスなどの個室型店舗において、通路での避難障害を防止するため、個室の外開き戸を開放した場合において自動的に閉鎖する構造とするよう義務付けるほか所要の改正を行いたいので提案する。

年賀状などの禁止

政治家からのあいさつ状は、公職選挙法によって禁止されています。市議会議員は選挙区内(上尾市内)に住んでいるのに対し、答礼のため年賀状などの時候のあいさつ状を出すことが禁止されています。

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道消防、福祉の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

補正予算 上尾小学児童保育所を移転

〔メモ〕 上尾小学児童保育所の敷地について所有者から返還を求められたため、上尾小学校の敷地内に新築移転する費用を計上。

委員 児童保育所の土地の賃貸借契約の内容について伺いたい。

答 児童保育所の賃貸借契約は、1年ごとに行い、契約内容の変更があるときは、6カ月前までに市に申し出て両者で協議することになっていています。

委員 民間の土地を借りている児童保育所の数と今後の方向性について伺いたい。

答 現在、民間の土地を借りているのは上尾小学児童を含めて13カ所あり、契約はすべて同様の内容

である。また平成14年度に策定した「児童保育所設置に関する基本方針」には、建て替えなどに合わせ、学校内に移していくことが盛り込まれているので、機会を踏まえ移転していきたい。



移転予定の上尾小学児童保育所

建設水道消防常任委員会

財産の取得 大谷分署のはしご付消防自動車を新車に

〔メモ〕 大谷分署に配備されているはしご付消防自動車は登録から19年が経過し、またNOxPM法の規制により次回の車検更新ができないため、新たに屈折はしご付消防自動車を取得するもの。

委員 今回導入される予定の屈折はしご付消防自動車の特徴を伺いたい。

答 屈折はしご付消防自動車ははしごの先端部分が屈折するため、電線や街路樹などを乗り越えて建物に接近できるほか、地表からマイナス6メートルまで先端を降下できるため河川や工事現場など低所にも対応できる。

委員 屈折はしご付消防自動車は、近隣市でも導入しているのか伺いたい。

答 近隣市での屈折はしご付消防自動車の導入については、平成18年に春日部市、平成20年に所沢市で導入した実績がある。

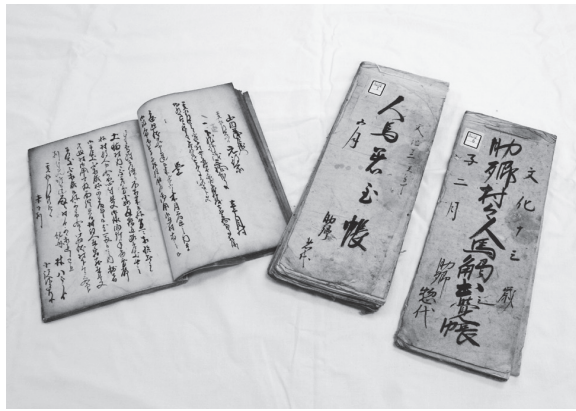
委員 今回入札に応じた業者は2社と少ないが、その理由を伺いたい。

答 消防車両の架装会社として上尾市に入札参加資格申請をしているのは21社あるが、特殊な車両のためこれを製作できる会社は少なく、結果的に入札に参加したのは2社だけであった。

文教経済常任委員会

補正予算 市指定文化財の古文書をDVD化

〔メモ〕 市民の郷土史学習の活



DVD化される耆丁目の上尾宿助郷関係文書

発化を図ることを目的として、現在マイクロフィルムに撮影されている古文書をDVDに変換するための経費を計上。

**委員** どのような古文書が、DVD化されるのか具体的に伺いたい。

**答** 平方の八枝神社の古文書や上尾市指定文化財である耆丁目の上尾宿助郷関係文書など、4件を予定している。

**委員** マイクロフィルムのうち、どのくらいの巻をDVD化するのか伺いたい。

**答** 既に撮影されたマイクロフィルムは3、348巻あるが、今回はその中で市民の利用が多い90巻についてDVD化する。

**委員** 今年度末に廃止ということだが、周知の方法は具体的に決まっているのか伺いたい。

**答** 自転車は売却、廃棄、譲渡のいずれかを検討しているが、早い時期に結論を出し、駐輪場の紹介を含めて周知をしていきたい。

**委員** 上尾駅西口の駐輪場の空きスペースはどのくらいあるのか伺いたい。

**答** 上尾駅西口付近には個人の駐輪場を含めて12カ所あり、8月末現在、月極め利用の空きが631台、一時利用での空きが346台ある。

**委員** 定期利用者は現在何人いるのか伺いたい。

**答** 月平均200人の定期利用者がいて、市外、市内ほぼ半数ずつという状況である。

**委員** 上尾駅西口の駐輪場の空きスペースはどのくらいあるのか伺いたい。

**福祉常任委員会**

**条例** 上尾駅西口レンタサイクルを廃止

**委員** 訪問はいつから始まるのか伺いたい。

**答** 9月生まれ以降の出生児を対象に、11月から開始する予定である。

**委員** 対象人数と訪問員数は何人か伺いたい。

**答** 対象者は、上尾市の年間出生数が約2千人であり、そのうち保健師が新生児訪問などで訪ねているのが400人前後なので、年間1、600人ぐらいになると考えている。

**委員** 訪問員はどのように入選するのか伺いたい。

**答** 各区长に事業概要を説明し、事務区からの推薦をお願いしたところ、大多数がその地区の母子愛育班または母子保健推進員とその経験者となった。

**補正予算** 乳児のいる家庭の訪問相談を実施



上尾駅西口レンタサイクル

**議会運営委員会の委員の変更および会派の代表の変更**

平成22年9月30日付けで、秋山かほる議員が議会運営委員会の委員を辞任したため、10月1日付けで、井上茂議員が委員に就任しました。

平成22年10月1日付けで、無所属の会・市民の力の代表が秋山かほる議員から井上茂議員に変更になりました。

## 反対討論

### 要旨

一般会計補正予算について、杭州国際友好都市市長サミット派遣業務委託料は、市長が10月14日から18日まで中国杭州市が開催する友好都市市長サミットに招待され、それに参加するための費用である。滞在費用は杭州市が負担するため、市長、国際交流協会会長、

通訳の3名分の交通費である。国際交流について反対するものではないが、市民には財政難だからと生活保護児童の入学祝い金さえ削ってきた。このような時期に、これまで一度も参加していない国際友好都市市長サミットへの参加を決めた理由が明確ではなく、また上海万博見学を含む海外出張は市民の納得が得られないと考え反対する。

上尾駅西口レンタサイクル条例を廃止する条例について、老朽化を主な理由とし、レンタサイクルの廃止が市から提案されたが、市は西口レンタサイクルについて事前に利用者や従業員の声を聞くという手続きを踏んでいない。廃止という結論が先にありきで、市民の声を封じ込めるやり方で看過できない。環境問題を考えてもこれ

からの時代にこそレンタサイクルのようなシステムが重要になってくる。自転車の街を目指す上尾市のシンボルともなるこのレンタサイクルは、今後一層効果的な活用をするべきである。廃止後にレンタサイクルの機能を移すという計画も提案されていない。こうしたことからこの議案に反対する。

### 子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書について、現在確認されているHPV（ヒトパピローマウイルス）のうち、子宮頸がんの原因といわれる高リスク型HPVは15種類ある。そのため子宮頸がんを完全に撲滅するには、この発がん性を持つ全タイプのウイルス感染を予防しなければなら

ない。現在、厚生労働省が認可しているのは、グラクソ・スミスクライン社のサーバリックスというワクチンであるが、日本人に比較的多いとされる52型、58型に対する予防効果は10%程度しか確認されていない。このワクチンは欧米で多いとされる16型、18型を対象に開発されており、製薬会社は公的に16型、18型、45型以外のタイプには効果がないと明らかにしている。さらに抗体価は5年から6年4カ月くらいとなっており、10

歳ごろに接種したから50歳まで大丈夫という保証は一切ない。また、インフルエンザなどの集団接種が、さまざまな経過を経て個別接種に変わっているのは、集団接種には問題があるためだと認識している。副作用の問題、効果の問題など情報を提供された各々が判断して接種にあたる方が良いのではないかと今の時点では思う。慎重な対応が必要であると考えるので「予防効果の高い特定年齢層の一斉接種」という文言に関して反対する。

る場合ではない。拉致問題は日本政府の責任において被害者救出のため全力で取り組むべきだと認識している。現在、政府は政府内に担当を配置し予算を組んでいるが、それらのほとんどが国内キャンペーン費用である。国内キャンペーンにいくら予算を使っても日本政府が決意をもって北朝鮮との交渉のパイプを作らない限り被害者は帰ってこない。政府はどんな困難があろうと被害者を救出するために北朝鮮との話し合いのルートをもち、粘り強い交渉を持つべき時期だと認識しているのです。もっと強い態度で政府に迫るべきである。

## 決算特別委員会を設置

議会では、委員7人で構成する決算特別委員会を設置し、平成21年度各会計歳入歳出決算認定議案8件を閉会中の継続審査としました。

委員会では、予算の執行状況などを審査し、結果は12月定例会で報告することになりました。

- |      |      |              |
|------|------|--------------|
| 委員長  | 矢部勝巳 | (新政クラブ)      |
| 副委員長 | 町田皇介 | (友愛クラブ)      |
| 委員   | 秋山もえ | (共産党)        |
| 委員   | 橋北富雄 | (公明党)        |
| 委員   | 井上茂  | (無所属の会・市民の力) |
| 委員   | 野本順一 | (新政クラブ)      |
| 委員   | 中村清治 | (新政クラブ)      |

平成22年9月定例会提出議案とその結果

◎市長提出議案 (23件)

○=賛成 ×=反対

議案番号	件名	議決結果	新政	友愛	公明	共産	無所属
議案第59号	平成21年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第60号	平成21年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第61号	平成21年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第62号	平成21年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第63号	平成21年度上尾市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第64号	平成21年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第65号	平成21年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第66号	平成21年度上尾市水道事業会計決算の認定について	継続審査					
議案第67号	平成22年度上尾市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第68号	平成22年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第69号	平成22年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第70号	上尾駅西口レンタサイクル条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	×	○
議案第71号	上尾市立養護老人ホーム恵和園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第72号	上尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第73号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第74号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第75号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第76号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第77号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第78号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第79号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第80号	教育委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答	○	○	○	○	○

◎議員提出議案 (6件)

○=賛成 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	友愛	公明	共産	無所属
議第25号議案	子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	△
議第26号議案	完全な地上デジタル放送の実施に向けて円滑な移行策を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第27号議案	21世紀型の公共投資の推進による景気対策を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第28号議案	政府認定・未認定を問わずすべての拉致被害者を早期救出するための条件整備を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	△
議第29号議案	国の小中学校の学級編制基準を30人とするを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第30号議案	行政刷新会議の事業仕分けによる都市再生機構の見直しに当たり、UR賃貸住宅の公共住宅としての継続及び居住者の居住安定策の確立を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○

◎請願 (1件)

○=賛成

請願番号	件名	議決結果	新政	友愛	公明	共産	無所属
請願第23号	行政刷新会議の事業仕分けによる都市再生機構の見直しに当たり、UR賃貸住宅の公共住宅としての継続及び居住者の居住安定策の確立を求める意見書提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○

※新政=新政クラブ(13人)、友愛=友愛クラブ(5人)、公明=公明党上尾市議団(5人)、共産=日本共産党上尾市議会議員団(4人)、無所属=無所属の会・市民の力(3人)

市政に対する  
一般質問

# ここが問題 そこが 聞きたい

## Q&A

9月定例会の一般質問は、9月7・8・9・10・13日の5日間行われ、23人の議員が登壇し、市政全般59項目にわたって市当局の見解を求めました。また、5日間で205人の皆さんが議会を傍聴しました。一般質問の主な内容は次のとおりです。(各議員の一般質問の中から1項目のみを掲載しました)

### ◆ 教 育

#### 学校図書館の整備状況

**問** 読書は子どもの学力向上に結びつき人間性も豊かにする。文部科学省は新学校図書館図書5カ年計画を平成19年からスタートさせ、学校図書館の充実を提起しているが、学校図書館の整備状況と年間経費について、また多くの学校が図書カードによる貸し出しを行っているが、蔵書管理のシステム化について見解を伺いたい。

**答** 国が策定した学校図書館図書標準に対する本市の整備状況は、平成21年度末で小学校が88.5%、中学校が79.6%であった。年間経費は、図書購入

費が小学校で2,249万円、中学校で1,648万円、書架などの備品購入費が小学校で141万円、中学校で92万円である。蔵書管理は図書台帳で行い、図書カードにより貸出の記録をしているが、上尾小学校と富士見小学校では学校独自でパソコンを活用したシステムを導入し管理・運用を行っている。すべての学校でパソコンによる蔵書管理を実施する場合、データベース化とシステム導入に、1校当たり200万円程度の経費が見込まれるため相当な予算が必要となるが、事業の優先順位を考慮し推進していきたい。

#### 市内各地に見られる庚申塔の由来は

**問** 道の端や住宅地の一角にひっそりとたたずむ庚申塔

は、風雨や周囲の環境の変化にもその形を保ち、生活してきた人々の暮らしの中から生まれ育ってきた貴重な郷土文化遺産である。庚申塔の由来と、現状の数や状況について伺いたい。



徳星寺の庚申塔

### 答

庚申塔は、江戸時代から近代にかけて、民間信仰によって建てられた石造物である。人間には三戸さんしという虫が住み、60日に一度めぐってくる庚申かのえざるの夜に、眠っている体から抜け出し天に昇り、神様にその人の行状を告げ、寿命を縮めると考えられていた。それを防ぐため、庚申の夜は眠らなければよいと仲間同士で集まり、話をしながら徹夜で起きていた。この行事を庚申待ちといい、

### ◆ 行財政一般

#### 土地開発公社の長期保有土地の処分計画は

記念や供養、将来の安楽などを祈願して建てたものが庚申塔である。庚申塔は、市内で143基確認されていて、1659年に建立された庚申塔が市内で最古のものとして上尾市指定文化財に指定されている。郷土に残る身近な文化財であるため、今後も保存と活用を図っていきたい。

### 問

市の外郭団体の一つである土地開発公社は、地価の上昇基調が続いていた時代に、市に代わり民間金融機関からの借入れを基本に公共事業用地を先行取得し、必要時に市が買い戻すという機能を担っていたが、バブル崩壊後は、本来の目的である先行取得の必要もなくなり、地価の下落による含み損や金融機関からの借り入れによる金利などが大きな負担となつていく。そこで、長期保有土地の処分計画と公社の解散について見解を伺いたい。

### 答

これまで土地開発公社の土地の処分は、市が土地を

買い戻し、当面活用が見込まれない長期保有土地については売却してきた。今後も処分可能な土地については、引き続き公売を進める必要があると考えている。また昨今の社会経済情勢の中、土地開発公社は役割を終えたとして、公社を解散する動きが全国的に出始めている。金融機関に対する金利負担が解消されることが最大のメリットであるが、一方で市が土地を買い取る財政力が必要となる。国では平成21年度に、5年間の時限措置として第三セクター等改革推進債を創設したので、多角的に検討していきたいと考えている。

### 第5次総合計画における地域医療の位置付けは

**問**

市民の安心・安全を届ける市民サービスの観点から地域での医療体制の確保は大変重要である。現在検討中の第5次総合計画は、上尾市の指針となる大事な計画であるが、地域医療という政策方針が削除されているのはなぜか伺いたい。

**答**

埼玉県地域保健医療計画では、初期医療の診療所と高度医療を提供する病院の医療機

能の分化と連携を進め、地域における良質・適切な医療を提供する体制の確保を目指している。また生涯を通じた健康づくり体制の確立を目指し、医療圏ごとに保健・医療サービスの提供を図ることとしている。

第5次総合計画では、市として医療法上の権限を有していないことや、県央保健医療圏域での医療体制を県が定めていることをかんがみ、健康づくり対策の一次予防の充実と、第一次救急医療である平日夜間・休日急患診療所の充実、鴻巣保健所管内の小児医療を含めた第二次救急医療の整備に重点を置き、「健康」という施策単位で同計画に健康づくりと救急医療の充実を掲げ検討している。

**問**

### 文化センター東側駐車場のスペース減少に伴う対策は

文化センターでは、イベント開催時などに市外から大型バスなどで訪れ、周辺の道路や根貝戸団地に違法駐車する車が見受けられる。この度、土地所有者の住宅建設のため駐車場の一部を返還したとのことであるが、東側駐車場の駐車スペースの減少に

伴う対策について伺いたい。



上尾市文化センター第3駐車場

**答**

文化センター東側の第3駐車場は、これまで約70台分の駐車スペースがあったが、10月以降は40台分に減少する。このため、昨年12月から駐車場の状況を利用者にお知らせするチラシの配布や公共施設予約システムで利用者への協力依頼を案内するなど、対策を行ってきた。また土日曜日などに開催されるイベント時には、市役所駐車場への誘導や、乳幼児相談センター駐車場の利用も案内している。大ホールで行うイベントの主催者にも駐車場の整理係の配置をお願いしトラブル防止に協力していただいている。今後は、施設の利用状況を見なが

### 事務区の役割と支援方は

**問**

住みよい豊かさを実感できるまちづくりを行うためには、住民の主体的な地域活動や住民と行政との協働が一層求められている。そういった中で自治会などの地域住民自治組織が果たす役割は非常に大きい。そこで事務区長の役割、事務区に対する支援策や助成金について伺いたい。

**答**

事務区長のおおむねの職務は、市との連絡調整、公共事業への協力、福祉増進への協力、共同募金社会福祉事業への協力などで、多岐の分野にわたりご尽力いただいている。支援策としては、事務区長業務の参考にしていただく「事務区長の手引き」の配布や、月1回開催している区長会連合会理事会での意見交換、問題点の協議などを行っている。今後も、民生委員や地区の連絡協議会と情報を共有するとともに、説明会の開催や臨時相談に応じるなど、事務区長への必要な情報提供に努めていく。



9月定例会の

# 一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

## 長沢 純

- ・バリアフリーについて
- ・緑のヘルシーロード安全対策について
- ・不要ごみ収集について

## 田中 元三郎

- ・市民の安心安全について
- ・上尾市都市整備について

## 深山 孝

- ・行財政問題について

## 箕輪 登

- ・鴨川水辺再生100プランについて
- ・学童保育の現状と課題について
- ・公民連携（PPP）事業について

## 伊藤 美佐子

- ・命を大切にする施策
- ・投票への意識向上の取り組み

## 橋北 富雄

- ・安心・安全な街づくりについて
- ・子ども達にふるさと上尾を
- ・水道事業について

## 鴨田 幸子

- ・命と健康を守る取り組みについて
- ・赤ちゃんの駅設置について
- ・市営住宅の取り組みについて

## 清水 義憲

- ・西宮下中妻線について
- ・地デジ対策について
- ・企業誘致について
- ・児童虐待について

資金面の支援としては、町内会振興交付金、集会所等整備事業費補助金などがあるが、町内会・自治会は地域コミュニティ活動の中核をなす組織であるため、リサイクル、環境美化、自主防災活動など各地区を事業主体とした事業への支援を今後も行っていきたい。

### は 平和市長会議への加盟

**問** 核廃絶をめぐる国際的な情勢に大きな変化が生まれている中で開かれた今年の広島市平和記念式典は、核廃絶への国際的な機運の高まりを象徴する式典となった。こうした情勢のなかで、

非核平和都市宣言に基づいて、どのように、上尾から平和を発信し、世界の平和を求める流れと合流・連帯していくかが問われる。

平和市長会議への加盟は、全国的に急速に広がり、本年9月1日現在、県内で過半数の35自治体が加盟している。市長の決断一つでき、影響力の大きなアクションである平和市長会議への加盟に対する見解について伺いたい。

**答** 非核平和宣言都市として核兵器廃絶や恒久平和に対する運動を考えると、国の代表者や広島、長崎の方だけでなく、市民自らが考え行動することが大切である。核兵器削減に向けて新たな時代を迎えつつある今、上尾

### ◆ 都市整備

### は 西口レンタサイクルの廃止の経緯と代替案

市の責任ある行動とは何か、平和市長会議の加盟を含め、さまざまな観点から見つめる必要があると思っている。

**問** サイクルタウンを目指す上尾市として、西口レンタサイクルの廃止は慎重に考えなければならぬ問題であると思うが、廃止に至った経緯と代替案について伺いたい。

**答** 上尾駅西口レンタサイクルは、平成6年に大規模

改修を行ったが、16年経った現在、機械のトラブルの多発や交換部品の製造中止などから、継続するには機械を全面的に交換しなくてはならない状況である。老朽化した施設には多額の修繕費がかかり、毎年多額の赤字が発生しており、低価格の自転車普及していることなどから廃止という結論に至った。しかし、依然としてレンタサイクルへの需要が高いと判断できれば、一時利用者が1日平均13件程度であるので、平面での小規模なものや民間の既存の駐輪場の空いているスペースを借りるなどして、民間の活力を視野に入れながらレンタサイクルの設置を検討していきたい。

**見沼代用水管理用道路の安全対策は**

**問**

見沼代用水沿いの管理用道路は、上尾市と見沼土地改良区と水資源機構で協定書を締結し管理しているとのことだが、カーブして見通しが悪い箇所や草が生えて道幅が狭くなっている箇所などで、車同士のすれ違いがでさず脱輪や横転事故をよく見かける。管理用道路の安全対策について伺いたい。

**答**

緑のヘルシーロード対応の見沼代用水沿いの道路は、独立行政法人水資源機構が見沼土地改良区の用地を利用して水路施設の維持管理のために、幅員4・5メートルの管理用道路と道路排水側溝、ガードレールなどを整備している。

市では見沼土地改良区・水資源機構との道路施設管理協定に基づき、管理用道路施設について維持管理を行っている。現状の施設の修繕は市で対応しているが、道路の拡幅や特に危険な場所の改修については、関係機関に要望し、より安全な道路環境を確保していきたい。



見沼代用水の管理用道路

**「水辺再生100プラン」の取り組み状況は**

**問**

県内100カ所で川の再生・復活に向けた取り組みを行う「水辺再生100プラン」に今年度、鴨川のBS通りの鴨川橋からずむき橋までの延長1,400メートルの区間が選定されたとのことであるが、「水辺再生100プラン」の目的や特徴、取り組み状況について伺いたい。

**答**

「水辺再生100プラン」は、県民が川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」の実現を目的に、県が平成20年度から川の再生事業を開

始したもので、特徴は親水機能の保全、多自然型の川づくり、遊歩道の整備などである。昨年度は、鴨川富士見親水公園が選定され、今年度中の完成を目指して整備に取り組んでいる。

今年度新たに選定された区間の整備事業については、県と関係する地区の区長、各団体、市による「鴨川・小泉・水辺再生検討会」が開催されたところである。今後、この水辺再生検討会では地域住民のアンケート結果などを参考に現状を把握し、実施時期や具体的な整備内容などを含めた整備方針を協議しながら定めていく予定である。

**原市駅にエレベーターとトイレの設置を**

**問**

伊奈町では、ニューシャトル丸山駅にエレベーターの設置を予定していると聞いている。トイレについては既に町内のすべての駅に設置しており、上尾市よりも予算規模の小さい中で大変大きな負担であると思う。

これまでもニューシャトル原市駅にエレベーターとトイレの設置を提案・要望してきたが、上尾市

としてどのように考えているのか伺いたい。



ニューシャトル原市駅

**答**

伊奈町は、ニューシャトルの駅を町の拠点としてとらえ、上尾市とは環境が違う中でまちづくりをしており、単純には比較できないと考えている。丸山駅のエレベーター設置についても、県立がんセンターの建て替えや埼玉新都市交通株式会社の本社敷地内施設の移設といった特殊な事情によるところが大きい。

原市駅のエレベーターとトイレの設置は、駅前広場などが充分ではなく用地の確保が課題となっている。しかしバリアフリー化は、利用者から多くの要望が出ていることもあり、今後の財政状況や周

辺環境の変化を考慮しながら、引き続き整備に向けて検討を進めていきたいと考えている。

### 浅間川改修の進ちょく状況は

#### 問

地頭方地区と平方領々家地区の境を流れている浅間川は、護岸整備のために川の幅員を広げる幅杭が打ち込まれ改修工事が進められているが、浅間川に流入する排水路には泥の堆積が見られ、豪雨時には近隣の水田が冠水することがある。

そこで、浅間川改修計画の進ちょく状況と排水路の対策について伺いたい。



浅間川改修工事の様子

#### 答

浅間川の改修は、上尾南高等学校から大宮北特別支援学校までの区間を現在整備している。また、大宮北特別支援学校から太平中学校東側までの延長

#### 秋山 もえ

- ・ 平和市長会議に加盟し平和事業の推進を
- ・ すべての市民に投票の保障を

#### 遠藤 朝子

- ・ 高齢者の人権と暮らしの保障を

#### 道下 文男

- ・ 障がい福祉施策について
- ・ 空きスペース活用による街づくりについて
- ・ 高齢化社会にむけて

#### 嶋田 一孝

- ・ 地域医療について
- ・ 学校教育について
- ・ さいたま築堤整備事業について

#### 糟谷 珠紀

- ・ 中小企業と市民生活を守るために
- ・ 貧困から子どもたちを守る取り組みを

#### 西村 テル子

- ・ ニューシャトル原市駅にエレベーター、トイレの設置を
- ・ ワーキングプアーをなくすために

#### 池野 耕司

- ・ 道徳教育について
- ・ 子どもへの「ノーテレビ・ノーゲーム」運動について
- ・ 地域福祉と民生委員

#### 野本 順一

- ・ 芝川について
- ・ 県立上尾運動公園について
- ・ 文化センターについて

#### 問

西宮下一丁目と愛宕一丁目  
目の境界付近の市道204  
64号線と市道20498号線と

### 川越旧街道踏切西側交差点の安全対策は

1、545メートルの区間を都市下水路として整備を行っており、昨年度より護岸整備に着手したところである。浅間川へ流入する排水路は、まだ河川整備が完了していない部分に流れ込んでいたため、流れが悪く泥土の堆積している箇所がある。浅間川改修事業の一層の推進を図るとともに、堆積している泥土は状況に応じてしゅんせつ工事を行っていきたい。

#### 答

市道20464号線と市道20498号線とが交差する急カーブには、頂点に道路反射鏡が設置され、ドライバーに注意を促し交通安全対策を講じている。しかし上尾警察署に確認したところ、平成21年1月からこの場所で3件もの交通事故が発生しているとのことである。現地調査の結果、道路反射鏡は年月の経過とともに風化しており、交換が必要であると判断したところである。年内をめどに調整し、既設のものより一回り大きいサイズを設

置いて、ドライバーの視野を広げ、より一層の交通安全対策を講じていきたいと考えている。



川越旧街道踏切西側の交差点

◆ 環境・産業

市内産業の活性化策は

**問**

上尾市内企業の倒産件数は2008年度に20件、2009年度に10件と厳しい実態がある。今年度予算では産業振興計画策定にかかる基礎調査を行う費用が計上されているが、その具体的な内容と、市長マニフェストの「商業・工業・農業を守り、育てます」に、企業を誘致し市内産業

を活性化を図るとあるが、進ちょく状況について伺いたい。

**答**

基礎調査の内容は、商店街の空き店舗調査、事業者や消費者のアンケート調査、中心市街地通行量調査などを行うものである。

市長マニフェストについては、上尾道路の整備に遅れが生じていることや、昨今の円高不況と企業の設備投資に陰りが見えていることなどから、慎重に検討する必要がある。今後、経済動向を見極めつつ、国・県や商工会議所、関係諸機関とも十分連携を図っていく。また市内産業活性化の方法の一つとして、企業と大学などの教育機関との連携、協力することにより、新たな事業展開の可能性が期待できることから、関係諸機関とも十分調整を図りながら、市として企業誘致だけでなく産学官連携による地元企業の育成・支援に取り組んでいきたいと考えている。

**問**

動物との共生社会づくりに向けての取り組みは

少子高齢化を背景に、ペットへの関心が急速に高まる中、犬や猫の飼育頭数は増

加を続けている。一方、その急激な変化はさまざまな社会問題を引き起こしているが、苦情・相談の実態、飼い主へのマナーの啓発と、動物との共生社会づくりに向けて市の見解を伺いたい。



AI♡犬フェスティバルのしつけ方教室

**答**

ペットに関する苦情や相談は、ふんや尿の不始末、鳴き声などの騒音、最後まで面倒をみないで捨ててしまうなどであるが、これらの多くは、飼い主のモラルの向上で解消できると考えられる。そこで飼い主のマナーと動物愛護意識の啓発のために、ふんの持ち帰り看板と犬の飼育啓発看板の配布や、「AI♡犬フェスティバル」でのしつけ方教室の実施、広報誌での啓発記事の掲載な

加を続けている。一方、その急激な変化はさまざまな社会問題を引き起こしているが、苦情・相談の実態、飼い主へのマナーの啓発と、動物との共生社会づくりに向けて市の見解を伺いたい。

上尾駅と北上尾駅にAED設置を

**問**

平成22年7月1日現在、市内のAED（自動体外式除細動器）の設置箇所は、公共施設に98カ所、民間施設・私立学校関係で96カ所となっているが、JR上尾駅・北上尾駅には、AEDが設置されていない。数多くの乗降客がいる中で急病人が出る割合は高いと思うが、AEDを設置することに

について見解を伺いたい。

**答**

JR上尾駅・北上尾駅は、JR東日本高崎支社の管轄であり、JRの内部規定によると、1日の乗車人員が5万人以上の駅にAEDを設置することになって

いる。乗降客数から換算した乗車人員は、上尾駅で4万1,000人、北上尾駅で1万4,000人であるので、両駅には設置していないとのことであるが、

◆ **福祉**

**児童虐待に対する市の取り組みは**

日々多くの利用者が集まる駅にAEDが設置されていないのは望ましい状況ではない。現在、市では同支社に対してAED設置について要望しているところである。

**問**

子どもの命を軽々しく扱う、身勝手に死に至らしめる虐待に非常に怒りを感じるが、児童虐待で死亡した312例のうち、203例は行政がかかわっていたことが、厚生労働省の調査で判明している。子どもを守るた

**答**

め、市はどのように児童虐待に取り組もうとしているか伺いたい。児童虐待は、子どもの人格を著しく侵害し、子どもの心身の成長や人格の形成に及ぼす影響が非常に大きく、決して許されない行為である。大切な子どもたちの命を守るため、児童虐待には早期発見・対応が大切であり、起因する要因を取り除く予防措置が重要であると考えている。特に市の役割としては、子育てに不安感を抱える親たちへの支援が重要であるため、いつでも安心して受けられる子どもの医療費助成の拡大、相談窓口の充実、こんにちば赤ちゃん事業など積極的な子育て支援策を地道に実施していく。今

**岡田 武雄**

- ・飲料水おいしい水について
- ・救急搬送と火災警報器について
- ・郷土史（庚申塔）について
- ・自転車について

**武藤 政春**

- ・上尾市の行財政運営について
- ・各行政業務の取り組み方について

**武藤 修**

- ・西貝塚環境センターについて
- ・第二産業道路と上尾環状線の渋滞緩和策について
- ・水道事業について
- ・子ども議会について
- ・西宮下1丁目の交通安全について

**井上 茂**

- ・学校図書館の充実について
- ・事務事業評価の公開について
- ・児童虐待防止策について

**町田 皇介**

- ・行財政改革について

**佐野 昭夫**

- ・上尾市長期総合計画について

**秋山 かほる**

- ・市民の健康と安全を守る市の医療政策とその方向について
- ・保育行政について
- ・市の経済対策と雇用対策について



**今後の救急医療体制は**

**問**

救急患者は一刻も早く病院に到着することが大切であるが、受け入れ病院の事情により、救急隊が現場に到着してから病院へ搬送するまでの時間がかかることがある。市内で救急を受け入れている病院は3カ所あるが、その内の1つである上尾甕生病院が受け入れを中止した。同病院を傘下に入れた上尾中央病院が5年

**答**

後、児童福祉法、児童虐待防止法の改正により、市への役割や権限が強化された場合は、専門的な組織づくりを検討したい。後を目標として救急を強化することだが、救急医療体制が整わない間、市ではどのような対応をするのか伺いたい。医療連携体制を充実させるため、かかりつけ医の定着促進や医師会などの協力を経て、第1次救急としての平日夜間・休日急患診療所の整備・充実を図り、専門性の高い医療との機能を分化し、連携を図っていきたいと考えている。病气やけがの症状の度合いに応じ、入院を要しない軽症者については、かかりつけ医などで診察をしてもらい、そのうえで詳細な検査や治療を必要とする患者に対し、救急病院や高度医療機能を持つ病院へ搬送する体

制を推進し、救急搬送の件数の軽減を図っていききたい。

### 地域包括支援センターの職員体制の充実

**問**

高齢者への虐待問題は、相談窓口として地域包括支援センターが位置付けられているが、仕事は幅広く3人の専門スタッフだけでは深刻な事態に対して十分な対応ができるのか心配である。職員体制を厚くし、専門研修を保障することが必要であると思うが、見解を伺いたい。

**答**

介護保険法では、65歳以上の人口がおおむね3,000人以上6,000人未満ごとに保健師などの社会福祉士、主任介護支援専門員を各1名ずつ配置することになっている。しかし虐待の相談窓口などの総合相談支援業務、権利擁護業務、支援困難事例に関するケアマネジャーへの助言など、地域包括支援センター業務は幅広いため、将来的には高齢者数の増加状況も考慮しながら、臨時職員の活用など各地域包括支援センターの負担を軽減する措置について検討していききたい。専門研修は、県主催で高齢者虐待対応

専門研修が実施されており、高齢者虐待対応専門員認定証を所持している職員は、全センターで9人、市職員で2人いる。今後も研修受講について努力していく。



大石東地域包括支援センター(パストーン浅間台内)

**問**

### 赤ちゃんの駅の整備計画は

乳幼児を抱える保護者を支援するため、おむつ替え

などができる赤ちゃんの駅が市内35施設に設置されるとのことであるが、本来は清潔な明るい場所であることが望ましい。赤ちゃんの駅の利用開始時期や場所などの啓発方法と授乳場所の設置について見

解を伺いたい。

**答**

赤ちゃんの駅は、市内公共施設35カ所について本年中に整備完了を予定している。

各施設には赤ちゃんの駅をイメージしたステッカーを掲示し、県や市のホームページ・広報紙などにより広く情報提供を行っていく。

また今回整備する35施設のうち、7カ所は授乳もできる施設として整備する。授乳施設はプライバシーを守るため一定の区切られたスペースがなければ設置が困難であり、既存の施設においては改修が必要となるが、施設改修費用は県補助の対象外である。今後、新たな施設整備や改修を行う際には、授乳できる場所について検討していききたいと考えている。



赤ちゃんの駅の案内看板

### 5歳児保育の午睡の見直しを

**問**

5歳児の場合、午睡をすると夜の寝つきが遅くなるという調査結果や、夜の眠りが後ろにずれ朝ぐずつくこともあるという専門家の意見もある。「早寝・早起き・朝ごはん」の観点からも、5歳児保育の午睡を見直すことについて見解を伺いたい。

**答**

児童福祉施設最低基準に基づき保育・保育所支援の中に「午睡は年齢や発達過程、家庭での生活、就寝時間、保育時間に配慮し、時間帯を工夫し柔軟に対応する」とある。市内27カ所ある保育所・園のうち、午睡を行っているのは25カ所で、子どもの体調や家庭状況を考慮し1〜2時間の午睡時間を設けていて、小学校就学前の1月ごろから徐々に行わないようにしている。また午睡を行わない私立保育園では、本を読むなど休息の時間として過ごしている。いずれの場合も小学校入学後の生活を考慮し、それぞれの保育所・園が特徴を生かした保育を行っていることを尊重したいと考えている。

### 今議会で決まった人事

#### 教育委員会委員に

おかの えいじ 氏  
**岡野 栄二**

教育委員会委員 岡野栄二氏の任期は平成22年9月30日で満了となるが、同氏を再び任命することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

#### 人権擁護委員に

やべ きよみ 氏  
**矢部 清美**

人権擁護委員 矢部清美氏の任期は平成22年12月31日で満了となるが、同氏を再び推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

### 採択された請願

市議会に提出された請願は、委員会審査を経て9月16日の本会議で採決し、1件を採択しました。

**行政刷新会議の事業仕分けによる都市再生機構の見直しに当たり、UR賃貸住宅の公共住宅としての継続及び居住者の居住安定策の確立を求める意見書提出を求める請願**

上尾市大字瓦葺2716

代表者 尾山台団地自治会

会長 尾上 道雄 氏

他274名

### 議会を傍聴してみませんか

議会は公開となっていますので自由に傍聴することができます。本会議場の傍聴席は一般用56席、車いす用2席のほか難聴者用イヤホンも備えています。議会開会中に市役所議会棟5階の傍聴ロビーまでお越しください。

議会の日程や委員会の傍聴など詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

⇒議会事務局 (TEL775-9467)

### 問

高齢化社会が進展する中、地域の目が届きにくく

### 地域福祉向上のため次なる人材の育成を



5歳児の午睡の様子（市内保育所）

### 答

現在、市内各地域では、それぞれ課題に合わせて町内会・自治会、社会福祉協議会支部、地域包括支援センター、NPO法人、ボランティアなどがさまざまな活動を展開し、地域福祉の推進に努めている。

活動団体同士が手をつなぎ、きめ細かく、より強固なネットワークを形成していきけるよう、市としては地域の中で各団体が活動しや

### 問

地域社会のために頑張ってきた方々が年を重ね、幸せを感じていける社会「幸齢化社会」に向けて、高齢者が病院や買

い物に出掛ける際の移動手段の問題は、重要な課題となっていく。自治会やNPO法人などで車を購入し、この問題に対応しているところもあり、上尾市でも尾山台団地自治会の取り組みが新聞に掲載

### 「幸齢化社会」に向けた取り組みは

すい環境を整備していく。そしてできる限り研修や啓発の場を確保して、今後の人材育成にも努めていきたい。

### 答

高齢者の移動の問題は、今後の市の公共交通施策にもよるところであるが、超高齢化社会を迎え高齢者のニーズが多様化する中で、行政が主体となりすべてのニーズに 대응していくことは困難であることから、地域が主体となり助け合うシステムが望ましいと考えている。市としては、今後、尾山台団地自治会の取り組みや、各地域、事務区、商店街などで取り組んでいる先進的な事例の提供などにかかわっていき

たいと考えている。

委員会活動 H22.7.16→H22.10.15

12月定例会日程（案）

- 11月30日 開会日
- 12月2日 本会議
- 3日 委員会（総務、建設水道消防）
- 6日 委員会（文教経済、福祉）
- 8日, 9日, 10日, 13日, 14日 一般質問
- 17日 閉会日



▲総務常任委員会の審査の様子

請願、陳情、要望の提出期限は、11月24日（水）までとなります。

詳しくは、議会事務局（☎775-9467）へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継（ライブおよび録画）を行っております。

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	9/2	・9月定例会提出議案1件、請願1件を審査
文教経済常任委員会	9/3	・9月定例会提出議案1件を審査
建設水道消防常任委員会	9/2	・9月定例会提出議案10件を審査
福祉常任委員会	9/3	・9月定例会提出議案4件を審査
議会運営委員会	7/20 随時	・議会改革について協議 ・議会運営等について協議（協議回数／5回）
議会報編集委員会	7/16 9/16 10/14	・「あげお議会だよりNo151」の内容について協議 ・「あげお議会だよりNo152」の内容について協議 ・「あげお議会だよりNo152」の内容について協議

意見書6件を原案可決

9月定例会最終日の9月16日、議員提出議案として意見書6件を提出し、すべて可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

◆完全な地上デジタル放送の実施に向けて円滑な移行策を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、総務大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長

◆21世紀型の公共投資の推進による景気対策を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、財務大臣、環境大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）、衆議院議長、参議院議長

◆政府認定・未認定を問わずすべての拉致被害者を早期救出するための条件整備を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、拉致問題担当大臣、外務大臣、国家公安委員長、衆議院議長、参議院議長

◆国の小中学校の学級編制基準を30人とすることを求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長

◆行政刷新会議の事業仕分けによる都市再生機構の見直しに当たり、UR賃貸住宅の公共住宅としての継続及び居住者の居住安定策の確立を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣（行政刷新担当）、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長、都市再生機構理事長

上尾市議会HPアドレス

<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

議会報編集委員

- 委員長 箕輪 登
- 副委員長 長沢 純
- 委員 渡辺 綱一
- 委員 町田 皇介
- 委員 秋山 もえ
- 委員 橋北 富雄
- 委員 池野 耕司
- 委員 井上 茂